旧テニスローン

南山手の2番と3番（旧リンガー邸と旧グラバー邸）の間に、住民がテニスやバドミントン、クリケットなどをしていた芝生があった。外国人住民は、スポーツのためだけでなく、コンサートやランチなどの集まりのためにも、明治時代（1868—1912）の日本では珍しいこの芝生を維持していた。旧リンガー邸と旧グラバー邸の間の芝生は舗装されて屋外カフェになっているが、テニス試合の準備のために草を平らにするローラーが近くに設置されている。